

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年6月6日(2019.6.6)

【公開番号】特開2017-209385(P2017-209385A)

【公開日】平成29年11月30日(2017.11.30)

【年通号数】公開・登録公報2017-046

【出願番号】特願2016-105700(P2016-105700)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

G 0 1 N 21/17 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 R

G 0 1 N 21/17 6 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成31年4月24日(2019.4.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

医療装置であって、

前記医療装置の制御部は、

生体に向けて照射された測定光の反射光の検出結果を処理することで得られる、前記生体の偏光特性を取得し、

取得した偏光特性に基づいて、前記生体に向けて照射する治療レーザ光の制御パラメータを決定することを特徴とする医療装置。

【請求項2】

請求項1に記載の医療装置であって、

前記制御部は、

偏光特性として偏光均一度を取得し、

取得した偏光均一度から、前記生体に含まれるメラニンの濃度に関する情報を算出し、算出したメラニンの濃度に関する情報に基づいて前記制御パラメータを決定することを特徴とする医療装置。

【請求項3】

請求項2に記載の医療装置であって、

前記制御部は、

前記生体のうち、治療レーザ光を照射する照射位置のメラニンの濃度に関する情報に基づいて、前記照射位置に向けて照射する治療レーザ光のエネルギー、パワー、照射時間、およびデューティー比の少なくともいずれかを決定することを特徴とする医療装置。

【請求項4】

医療装置であって、

前記医療装置の制御部は、

患者眼の眼底に向けて照射された測定光の反射光の検出結果を処理することで得られる、前記眼底の偏光特性を取得し、

前記眼底を正面から見た場合の二次元の画像であり、治療レーザ光が既に照射された前記眼底の状態を判別するための状態判別画像のデータを、偏光特性に基づいて作成するこ

とを特徴とする医療装置。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれかに記載の医療装置の各種処理手段としてコンピュータを機能させるためのプログラム。